



ウォールナット Walnut

北米が産地のクルミ科の広葉樹で、チークやマホガニーと並ぶ三大銘木の一つで、高級家具の素材の代名詞として知られます。

衝撃に強く、硬く粘りがあり、軽量で加工性にも優れていることから家具材としてだけでなく、楽器や銃床などにも利用されています。木肌は最初は紫みのかかった濃い褐色から年とともに紫みが抜けて赤みが入り、少し明るめの茶色へ変化していきます。



ブラックチェリーBlack cherry

北米が産地のバラ科の広葉樹で、日本のサクランボと比べ、黒っぽく大きい実がなることで有名な樹種です。燻製のチップとしても馴染みのある樹種で、最大の特徴は、ガムポケットと呼ばれる、樹液などが硬質化した黒い斑紋が木目に表れる点と経年変化による大きな色みの変化です。最初は淡い薄桃色の木肌が経年変化とともに赤みを増して、飴色の濃い褐色に変化します。変化とともに味わいに深みが増していきますので、その変化を楽しめる材です。



ハードメープルHard maple

北米が主な産地であるカエデ科の広葉樹で、樹液はシロップなどの材料としても有名です。木肌は明るめの白みがかかった色をしています。特徴としては衝撃や摩擦に強く楽器やバットなどの素材としても利用されている樹種です。木目にはシュガースポットと呼ばれる樹液で出来た筋や点状の色変化が起こり、バースアイズと呼ばれる鳥の目のような模様が表れた素材は特に希少価値が高いとされます。経年変化は時間とともに少し黄みが強く濃くなっていきます。



ホワイトオーク White Oak

北米が主な産地であるブナ科の広葉樹で、複数の種をまとめてオークと言いますが、その中でも木肌の色が少し白みがかっている淡い黄白色のものがホワイトオークです。少し荒々しさのある木目が特徴で、虎の縞模様のような虎斑（とらふ）と呼ばれる模様が表れることがある樹種です。耐久性と耐水性に優れ、腐食にも強いいため、ウィスキーの酒樽としても使われてきました。経年変化も少なく、時間が経つとともに若干色は濃くなりますが、変化は少ない樹種です。



レッドオーク Red Oak (¥4,000減額)

北米が主な産地であるブナ科の広葉樹で、複数の種をまとめてオークと言いますが、その中でも木肌の色が少し赤みが強いものがレッドオークです。少し荒々しさのある木目はホワイトオーク同様に特徴で、虎の縞模様のような虎斑（とらふ）と呼ばれる模様が表れることがある樹種です。耐久性はややホワイトオークに劣りますが、木目の印象などホワイトオークに近く、ホワイトオークの価値が増してきた影響で代用品として使われることが増えました。経年変化は時間とともに少しずつ赤みが増してきますが、他の樹種と比較すると影響は少ないです。